



現況編

1. 被災・復旧等の状況把握.....2
2. 町の現状把握16
3. 上位・関連計画の整理48
4. 課題の整理59

古殿町 復興・防災まちづくり事業計画

1. 被災・復旧等の状況把握

調査結果の概要

- ・東日本大震災による道路や建物等の被害について、既存資料と現地踏査による調査を行い、被災と復旧の状況を把握した。
- ・被災の状況を見ると、人的被害はなかったものの、道路が197件、体育館や集会所、給排水施設等の公共施設が19件、住宅が856件（大規模半壊/半壊/一部損壊）であり、本町はこれまでにない大きな被害を受けた。原発事故では、放射線量は県内の他の地域と比べれば低いものの、汚染された建物や牧草地の除染作業が進められてきた。
- ・こうした被害に対して、一部の公共施設を除く復旧工事は完了し、除染作業も終了している。
- ・古くから地震に強いまちとして過去に震災の被害が少なかったように、今回の震災による被害は、県内の主要都市や太平洋沿岸地域と比べると明らかに少ない。後述する地盤の強さが大きく影響していると考えられる。地震被害が少なく、空間線量も低い本町は、県内でも極めて安心して暮らすことができる地域の一つとして捉えることができる。

(1) 被災の状況

- ・地震と原発の被害について、既存資料による調査を行い、その結果を整理した表と地図を以下に示した。
- ・地震被害については道路や公共施設、住宅等の被害、原発被害については事故当時と現在の空間線量、除染の状況の調査を行った。

1) 地震被害

- ・道路は地震による土砂崩れや地割れにより、19路線が被害を受け、そのうち、1路線で法面崩落が発生した。その影響により、県道1路線、町道9路線で通行止めとなった。
- ・公共施設では、指定避難所となっている町民第1体育館及び町勤労者体育センターのガラス崩落等の他、滝ノ平集会所については、地盤崩落により全壊する等の被害を受けた。
- ・住宅では全壊等の大きな被害はなかったものの、大規模半壊9件、半壊25件、一部損壊が822件発生した。
- ・行政区ごとの被災状況は、中心部である竹貫地区、次いで下松川地区から多くの被害報告がされている。

■道路の被災状況

		路線数	被災件数	備考
災害復旧	町道	9	15	
	林道	9	9	
法面崩壊		1	2	三株団地内
道路維持補修	町道		135	
	農道		13	
	林道		23	
計		19	197	

資料：古殿町集計資料、「いわき百科事典プロジェクト」福島高専布施研究室HP, 2011.10



林道薄木線被災箇所

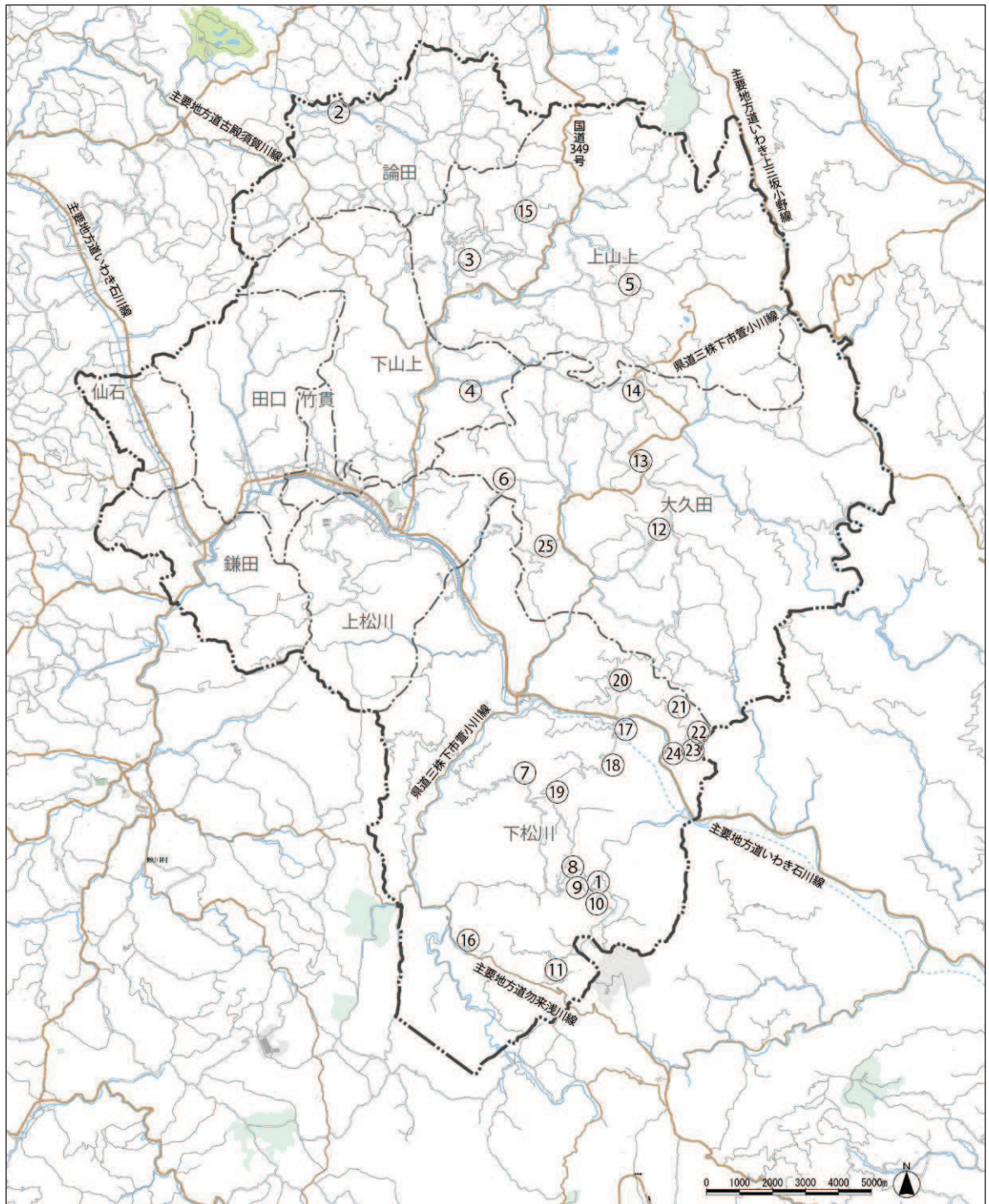
出典：「いわき百科事典プロジェクト」福島高専布施研究室HP, 2011.10

■道路の被災状況 災害復旧、法面崩落箇所等

番号	路線名等	番号	路線名等	番号	路線名等
①	町道 小松川須巻線	⑩	町道 小松川須巻線	⑰	林道 薄木線 1号
②	町道 下論田線	⑪	町道 小松川須巻線	⑱	林道 薄木線 2号
③	町道 松久保上長八内線	⑫	町道 下大久田有実線	⑲	林道 薄木線 3号
④	町道 能登沢西作線	⑬	町道 有実犬仏線	⑳	林道 薄木ナッサ線
⑤	町道 浪滝悪原線	⑭	町道 有実犬仏線	▪	林道 水沼仁田 1号
⑥	町道 才竜内石神線	⑮	町道 大平上鵬巢線	▪	林道 水沼仁田 2号
⑦	町道 小松川須巻線	⑯	三株団地	▪	林道 水沼仁田 3号
⑧	町道 小松川須巻線		町道三株団地線	▪	林道 水沼仁田 4号
⑨	町道 小松川須巻線		町道三株団地線	▪	林道 松久保堀越線

資料：古殿町集計資料

■道路関係被災状況位置図

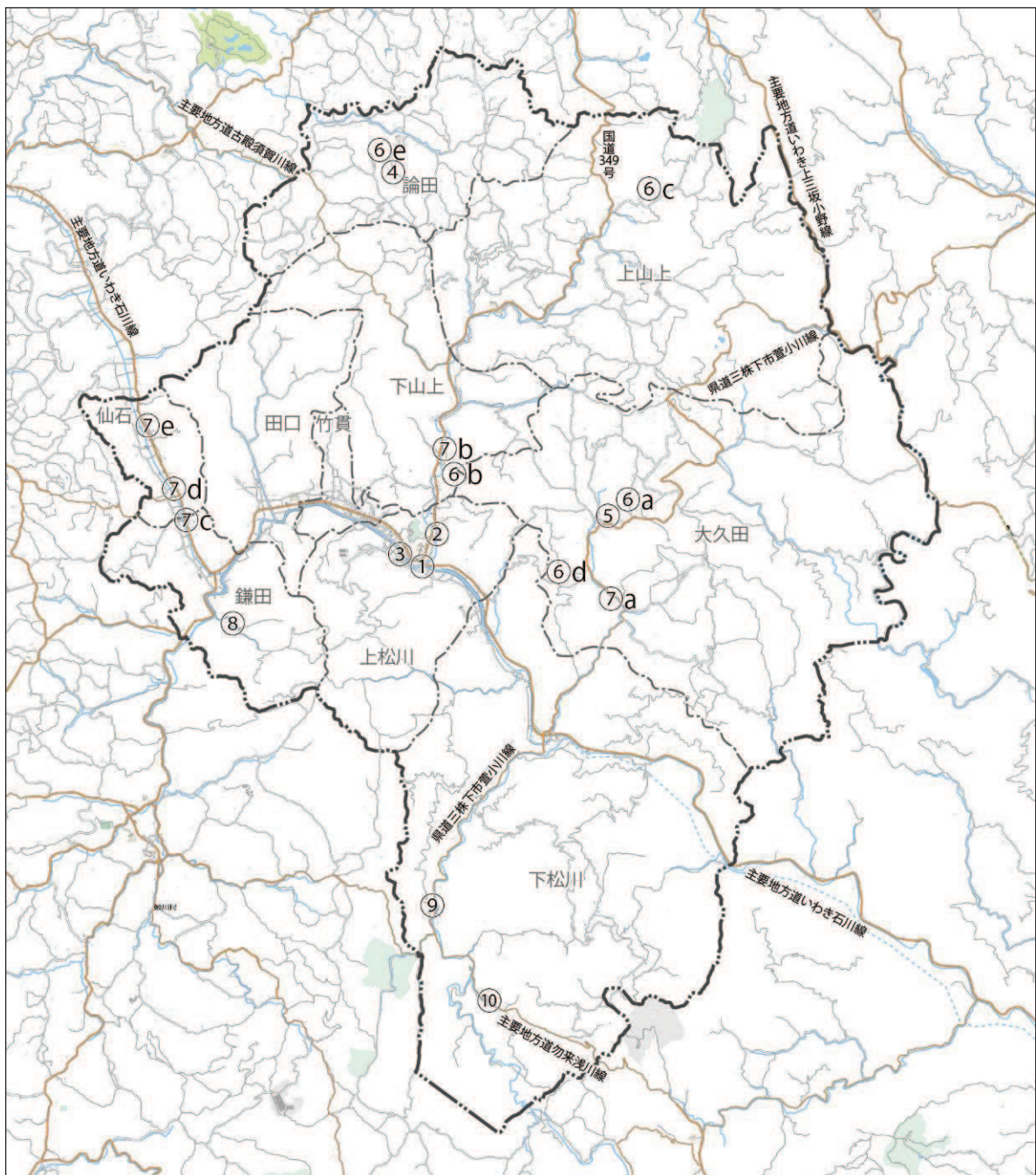


■公共施設の被災状況

施設名	被災件数	被災状況	備考
① 町民第1体育館	1	ガラス崩落、亀裂	指定避難所
② 町勤労者体育センター	1	ガラス崩落	指定避難所
③ 古殿町民水泳プール	1	ダクト崩落	
④ 論田ふれあいセンター	1	壁・天井の亀裂	
⑤ 大久田ふれあいセンター	1	亀裂	
⑥ 給水施設 (a:有実/b:古殿/c:竹貫田 d:松久保/e:中ノ町)	5	機器破損等	
⑦ 排水処理施設 (a:下大久田/b:篠久保/c:若神子 d:仙石下/e:仙石上)	5	減水槽沈下、配管損傷、機器全損、水槽破損	
⑧ 沢浄水場	1	揚水ポンプ全損	
⑨ 滝ノ平集会所	1	地盤崩落により全壊	
⑩ 滝ノ平ごみステーション	1	地盤崩落により全壊	
計	19		

資料：古殿町集計資料

■公共施設被災状況位置図



■住家被害状況

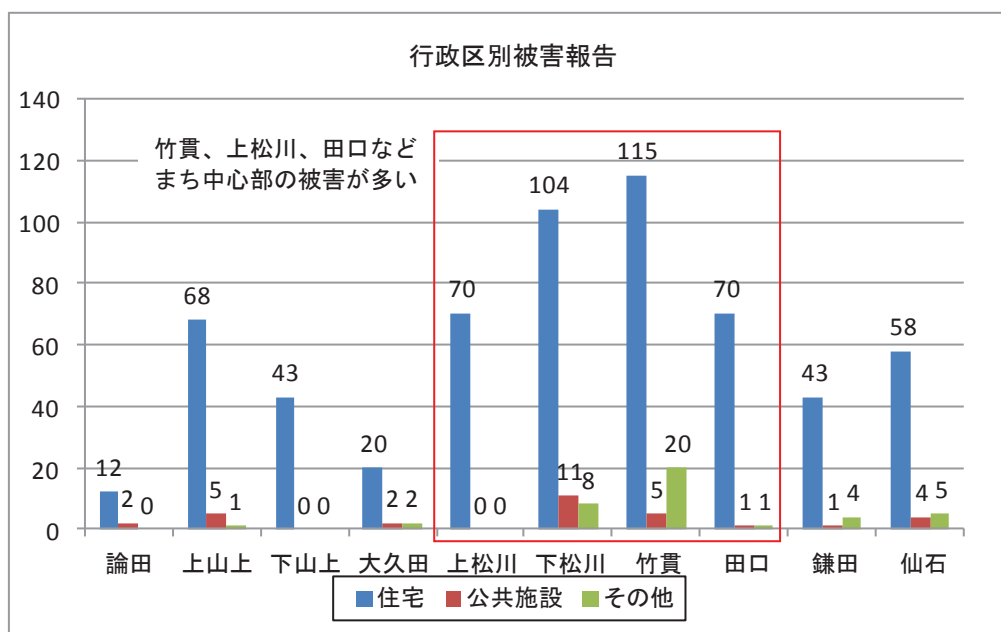
	被災件数
全壊	0
大規模半壊	9
半壊	25
一部損壊	822
計	856

資料：古殿町集計資料(H24.10.19時点)

■行政区別被害状況

		論田	上山上	下山上	大久田	上松川	下松川	竹貫	田口	鎌田	仙石
住宅	全体	1	1	0	0	0	7	0	0	0	0
	一部	5	32	13	13	56	54	87	45	17	30
	工作物 その他	6	35	30	7	14	43	28	25	26	28
公共施設		2	5	0	2	0	11	5	1	1	4
店舗・事業所		0	0	0	0	0	6	19	1	3	4
神社・寺		0	1	0	0	0	0	1	0	0	1
共同墓地		0	0	0	2	0	2	0	0	1	0
計		14	75	43	24	70	123	140	72	48	67

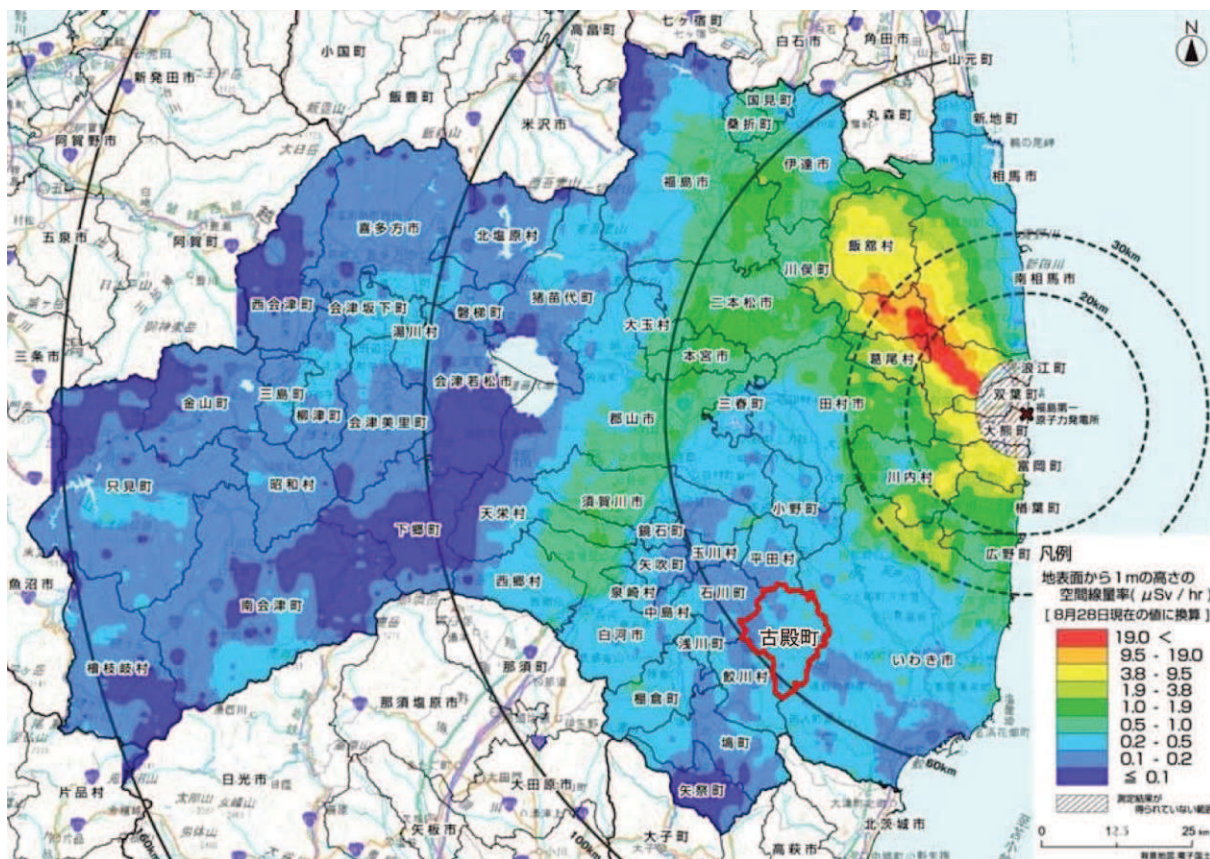
資料：古殿町集計資料 ※被害状況欄空白、非住家（空家）、車、酒、コップ、タマヤ（不明）は除外



2) 原発被害

- ・ 原発事故から間もない頃の古殿町の空間線量率は、0.18 から 0.35 $\mu\text{Sv/h}$ であり、中通りと浜通りの中では非常に低い。
- ・ 現在の空間線量 (H26.2) は、0.07 から 0.14 $\mu\text{Sv/h}$ であり当時の半分以下に低下し、国の安全確保の基準 0.23 $\mu\text{Sv/h}$ を下まわっている。また、肉・野菜等、飲料水の放射線モニタリング検査、調理済み給食まるごと検査でも基準値を超える放射性物質は検出されていない。
- ・ 除染作業は、平成 25 年 12 月末時点の計画数、公共施設 29 施設、住宅 29 戸、牧草地 8.7ha の全てにおいて終了している。(環境省 HP：除染情報サイト)

■ 原発事故当時の空間線量率 (地図：H23.8.28 日時点、表：H23.8~H24.6)



出典：「航空機モニタリング汚染 MAP (空間線量)」文科省 HP

地区	空間線量率	地区平均値	測定点数
大久田地区	0.28~0.34 $\mu\text{Sv/h}$	0.31 $\mu\text{Sv/h}$	5
下松川地区	0.21~0.29 $\mu\text{Sv/h}$	0.24 $\mu\text{Sv/h}$	5
上山上地区	0.21~0.29 $\mu\text{Sv/h}$	0.24 $\mu\text{Sv/h}$	5
下山上地区	0.19~0.35 $\mu\text{Sv/h}$	0.25 $\mu\text{Sv/h}$	5
論田地区	0.25~0.32 $\mu\text{Sv/h}$	0.28 $\mu\text{Sv/h}$	5
上松川地区	0.21~0.28 $\mu\text{Sv/h}$	0.25 $\mu\text{Sv/h}$	5
竹貫地区	0.20~0.27 $\mu\text{Sv/h}$	0.23 $\mu\text{Sv/h}$	5
田口地区	0.18~0.34 $\mu\text{Sv/h}$	0.24 $\mu\text{Sv/h}$	5
鎌田地区	0.18~0.28 $\mu\text{Sv/h}$	0.23 $\mu\text{Sv/h}$	5
仙石地区	0.18~0.30 $\mu\text{Sv/h}$	0.24 $\mu\text{Sv/h}$	5

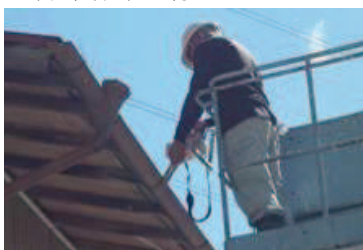
使用測定機器 エネルギー補償型 γ 線用シンチレーションサーベイメータ(日立アロカメディカル社製)
 測定月日 平成 23 年 8 月 3 日~31 日、平成 24 年 1 月 26 日、6 月 12 日
 測定高さ 地上 1 m

■現在の空間線量率（地図：H26.2.6～2.27）

行政区	場所	測定値(μSv/h)			
		2月6日	2月13日	2月20日	2月27日
仙石	寄居	0.12	0.12	0.11	0.13
	野竹(消防屯所前)	0.16	0.11	0.12	0.12
	蛭内	0.13	0.09	0.10	0.12
鎌田	若神子(集会所)	0.13	0.11	0.10	0.12
	明内(バス停前)	0.09	0.10	0.08	0.10
	長光地	0.09	0.08	0.08	0.09
田口	寺前(古殿小学校正門)	0.10	0.10	0.09	0.11
	山下(道の駅ふるどの)	0.12	0.10	0.10	0.12
	東入山	0.12	0.11	0.10	0.12
竹貫	竹ノ内	0.10	0.09	0.07	0.10
	古町(郵便局前)	0.11	0.11	0.09	0.11
	竹貫(横小路橋付近)	0.10	0.08	0.08	0.11
	池ノ内(愛宕団地)	0.11	0.10	0.10	0.12
上松川	大作	0.11	0.09	0.09	0.11
	横川(教員住宅)	0.10	0.08	0.09	0.09
	荷市場(三叉路)	0.11	0.08	0.08	0.10
下松川	西渡(公園前)	0.10	0.07	0.07	0.10
	大原(県道交差点)	0.12	0.09	0.11	0.12
	薄木	0.10	0.08	0.08	0.09
	小名沢	0.09	0.09	0.07	0.09
	三株(三株団地)	0.12	0.09	0.11	0.09
大久田	蕨草	0.14	0.13	0.12	0.12
	石神(旧大久田小学校前)	0.13	0.12	0.12	0.12
	茗荷	0.17	0.14	0.11	0.12
	越代(大風公園)	0.11	0.08	0.09	0.08
	越代(県道交差点)	0.13	0.11	0.09	0.09
下山上	五輪平	0.14	0.11	0.10	0.14
	百目鬼(三叉路)	0.10	0.09	0.08	0.10
	小滝	0.15	0.12	0.11	0.12
	戸草	0.11	0.09	0.10	0.11
上山上	大平	0.12	0.11	0.08	0.09
	浪滝	0.13	0.11	0.10	0.11
	松久保	0.13	0.10	0.12	0.13
	竹貫田(集会所)	0.12	0.12	0.11	0.10
	馬場平	0.13	0.11	0.10	0.10
論田	五斗蒔田	0.12	0.10	0.07	0.09
	上鷗巣	0.13	0.12	0.11	0.10
	家ノ前	0.14	0.12	0.12	0.13
	上名花	0.11	0.11	0.07	0.09

・μSv/h ……(マイクロシーベルト/毎時)1時間あたりの放射線量。

■除染作業の様子



雨樋の線量率の測定



U字溝周りの堆積物除去



植栽溝周りの堆積物除去

出典：「除染情報サイト」環境省 HP

(2) 復旧の状況

- ・被災した道路と指定避難場所・避難所（以下、指定避難所等）の復旧状況等について、既存資料と現地踏査による調査を行い、その概要を以下に示した。
- ・指定避難所等については、防災上特に重要な施設であることから、建物の位置、構造、規模、機能などの調査を行うとともに、土砂災害や水害に係る危険な箇所を洗い出し、建物周辺の状況について把握を行った。

1) 道路

- ・震災により、隣接するいわき市と連絡している県道いわき石川線、県道勿来浅川線の2路線が長期に渡り通行止めとなっていたが、復旧工事は完了している。
- ・その他、町道、林道においても震災による復旧工事は完了している。

■三株団地内の法面崩壊箇所の復旧状況



当時の被災状況



平成 25 年 7 月末時点の状況

出典：「いわき百科事典プロジェクト」福島高専布施研究室 HP, 2011.10

2) 指定避難所等

- ・町民第 1 体育館や町勤労者体育センター、論田ふれあいセンター等の公共施設が被災し、復旧工事は未完了である。
- ・指定避難場所・指定避難所（地域防災計画、平成 14 年度）において、土砂災害警戒区域に隣接して立地していたり、避難ルートが急勾配である等、指定避難場所（指定避難所）としての安全性が懸念される施設が見られた。また、小学校の合併等、公共施設の再編に伴い、指定避難場所（指定避難所）として位置づけられている施設が取壊しをされたり、民間移譲されたりしている状況が見られる。

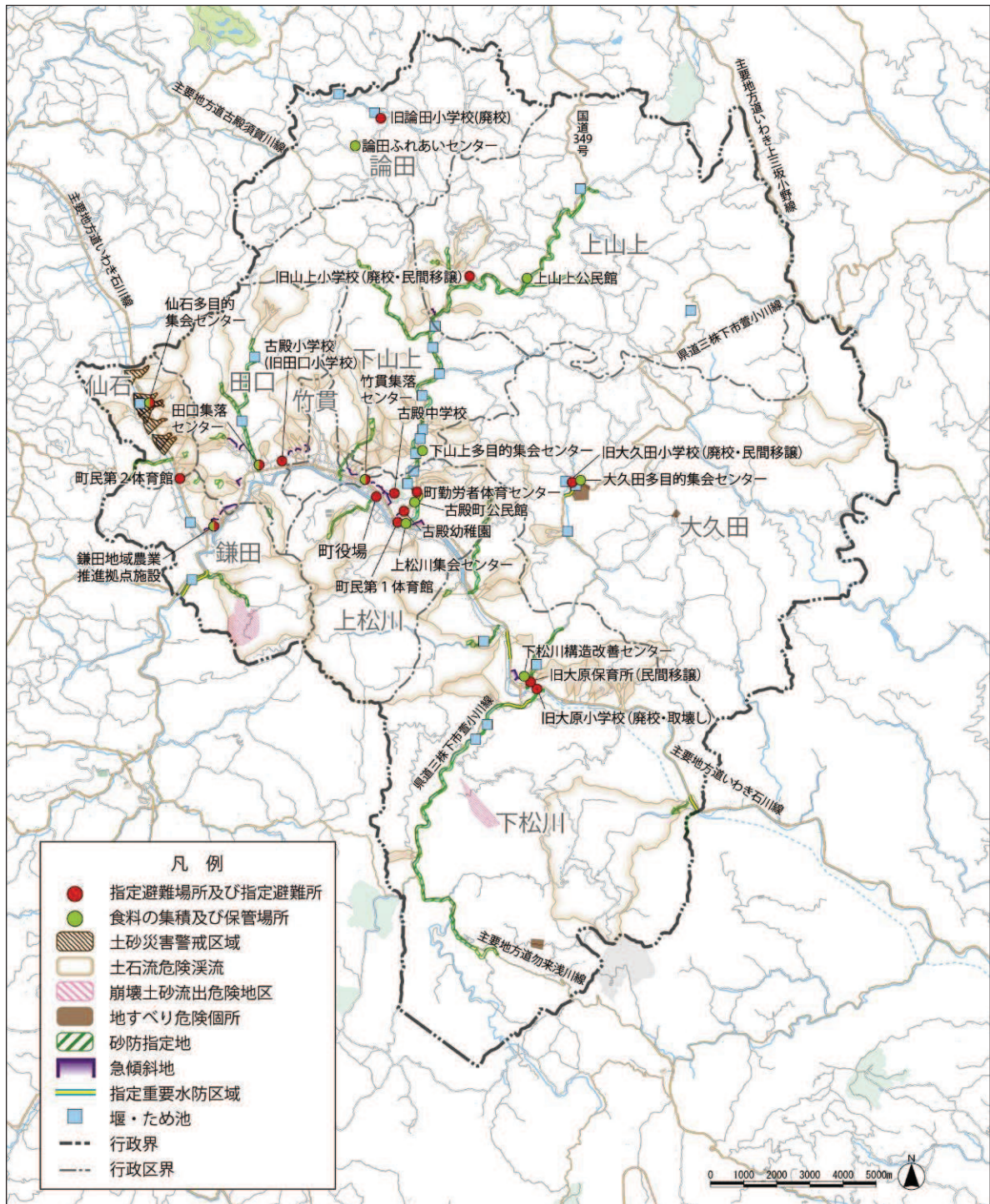
■土砂災害警戒区域に隣接して立地している仙石多目的センター



■指定避難場所・指定避難所等一覧

仙石	仙石多目的集会センター	上松川	古殿中学校
鎌田	鎌田地域農業推進拠点施設	下松川	下松川構造改善センター
	町民第2体育館		旧大原保育所（民間移譲）
田口	田口集落センター	大久田	旧大原小学校（H23.3 廃校/取壊し）
	古殿小学校(旧田口小学校 H23.3 廃校)		旧大久田小学校（H23.3 廃校/民間移譲）
竹貫	竹貫集落センター		大久田多目的集会センター
上松川	町役場	上山上	上山上公民館
	上松川集会センター		旧山上小学校（H23.3 廃校/民間移譲）
	町民第1体育館		下山上多目的集会センター
	古殿幼稚園（H26.3 閉園）	論田	論田ふれあいセンター
	古殿町公民館		旧論田小学校(H23.3 廃校)
	町勤労者体育館センター		

■指定避難場所・避難所等位置図



■指定避難場所・指定避難所等詳細一覧（古殿町地域防災計画書、平成14年修正）

行政区	人口※	施設名		住所	建築年	構造	規模			炊き出し給食可能人員	機能	
							階数	延床面積(m ²)	保管場所面積(m ²)		指定避難場所・避難所	食品の集積・保管場所
仙石	272	1	仙石多目的集会センター	仙石字浜井場25	S55	木造	1	110.14	110.14	100	○	○
鎌田	485	2	鎌田地域農業推進拠点施設	鎌田字長光32-3	H7	木造	1	200.00	200.00	100	○	○
		3	町民第2体育館	鎌田字若神子7-1	S45	鉄骨造	1	359.10			○	
田口	513	4	田口集落センター	田口字寺前69	S60	木造	1	185.19	185.19	100	○	○
		5	古殿小学校(旧田口小学校H23.3廃校)	田口字寺前208	H23	鉄筋コンクリート造	2	2,687.00			○	
竹貫	773	6	竹貫集落センター	竹貫字池ノ内5-1	S60	木造	1	224.42	224.42	100	○	○
上松川	820	7	町役場	松川字新桑原31	-	鉄筋コンクリート造	3				○	
		8	上松川集会センター	松川字横川67	S57	木造	1	141.32	141.32	100		○
		9	町民第1体育館	松川字横川87-1	S51	鉄骨造	2	1,759.76			○	
		10	古殿幼稚園(H26.3閉園)	松川字横川112-1	-	鉄骨造	1				○	
		11	古殿町公民館	松川字横川235	S57	鉄骨造	1	1,153.00	1,153.00	300		○
		12	町勤労者体育館センター	松川字横川236	S61	鉄骨造	2	1,026.60			○	
		13	古殿中学校	松川字横川462	S50	鉄筋コンクリート造	3				○	

※H25.5.31の人口

行政区	人口※	施設名		住所	建築年	構造	規模			炊き出し給食可能人員	機能	
							階数	延床面積(m ²)	保管場所面積(m ²)		指定避難場所・避難所	食品の集積・保管場所
下松川	1,012	14	下松川構造改善センター	松川字大原162-3	S62	木造	1	216.13	216.13	100		○
		15	旧大原保育所(民間移譲)	松川字大原194-2	H1	鉄骨造	1	518.79			○	
		16	旧大原小学校(H23.3廃校/取壊し)	松川字和久23	-	鉄筋コンクリート造	2	2,264.00				○
大久田	525	17	旧大久田小学校(H23.3廃校/民間移譲)	大久田字石神40	-	鉄筋コンクリート造	2	1,502.00			○	
		18	大久田多目的集会センター	大久田字石神52	S55	木造	1	198.74	198.74	100		○
上山上	708	19	上山上公民館	山上字浪滝104	-				126.40	50		○
		20	旧山上小学校(H23.3廃校/民間移譲)	山上字坂宿60	-	鉄筋コンクリート造	2	2,164.00				○
下山上	596	21	下山上多目的集会センター	山上字古殿18-2	S55	木造	1	198.74	198.74	100		○
論田	447	22	論田ふれあいセンター	論田字中ノ町46-2	-				168.52	100		○
		23	旧論田小学校(H23.3廃校)	論田字早稲田45	-	鉄筋コンクリート造	3	2,367.00				○



仙石多目的集会センター(1)



鎌田地域農業推進拠点施設(2)



町民第2体育館(3)



田口集落センター(4)



古殿小学校(5)



竹貫集落センター(6)



町役場(7)



町民第1体育館(9)



古殿幼稚園(10)



古殿町公民館(11)



町民労働体育センター(12)



古殿中学校(13)



下松川構造改善センター(14)



大久田多目的集会センター(18)



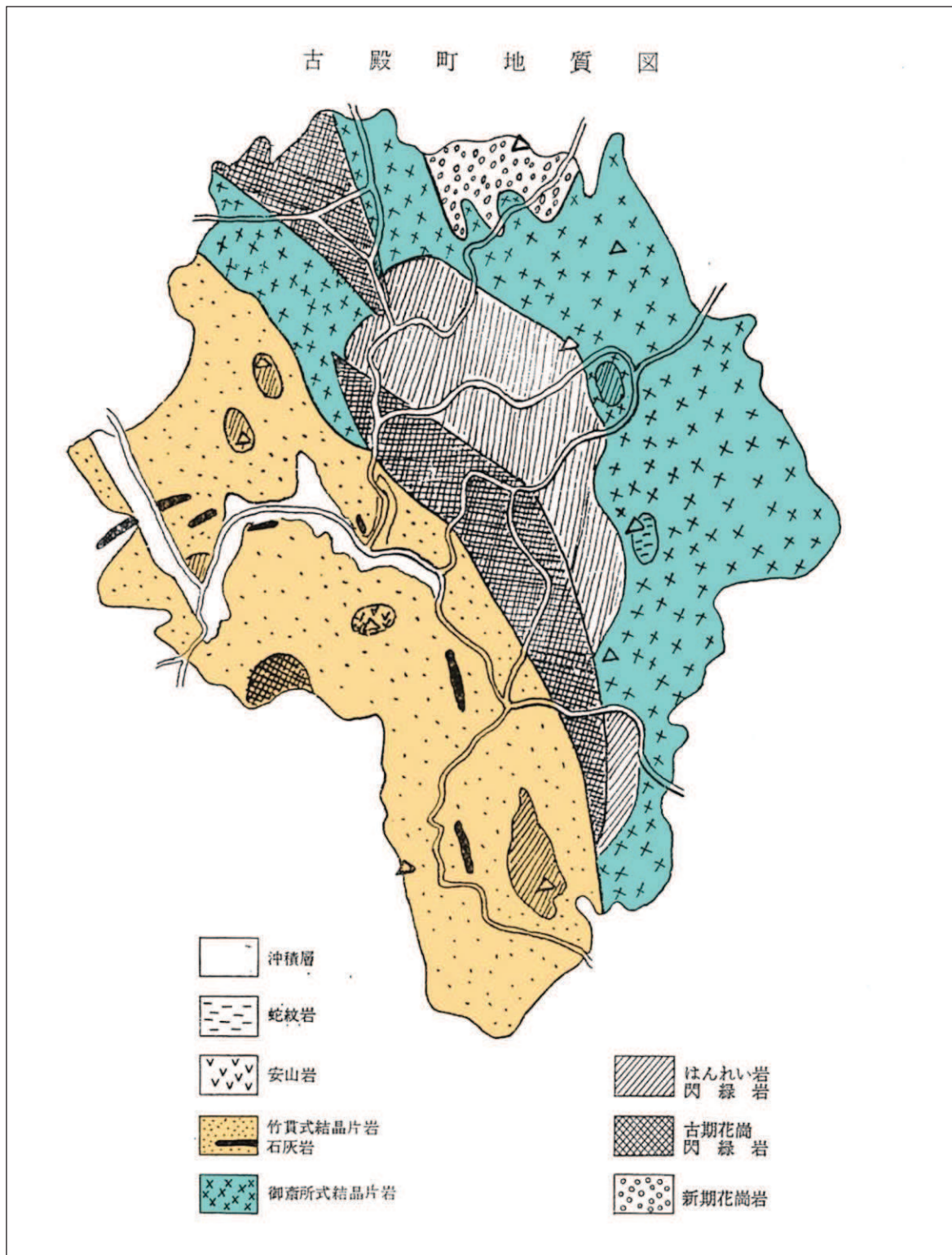
旧論田小学校(23)

括弧内の番号は前頁の一覧表の番号に対応している

2) 地質

- 地質調査によると古殿町の北東部は御斎所式結晶片岩、南西部は竹貫式結晶片岩石灰岩という変成岩の固い地層の上に成り立っているが、竹貫地区や田口地区といった人口の多い鮫川沿いには、地層の強度としては軟弱な沖積層が分布している。

■地質図



3) 表層地盤

- ・内閣府が公表している「地震のゆれやすさ全国マップ」(福島県)で古殿町を見ると、ほぼ全域が揺れにくい地域である青色(計測震度増分0.2以下)に着色されていることが確認できる。
- ・ただし、地質図でも確認しているように、組矢川及び鮫川流域に沖積層が分布しているため、その地域は周辺(青色)より揺れやすい地域(緑色0.4~0.6)に分類されている。

■地震の揺れやすさマップ

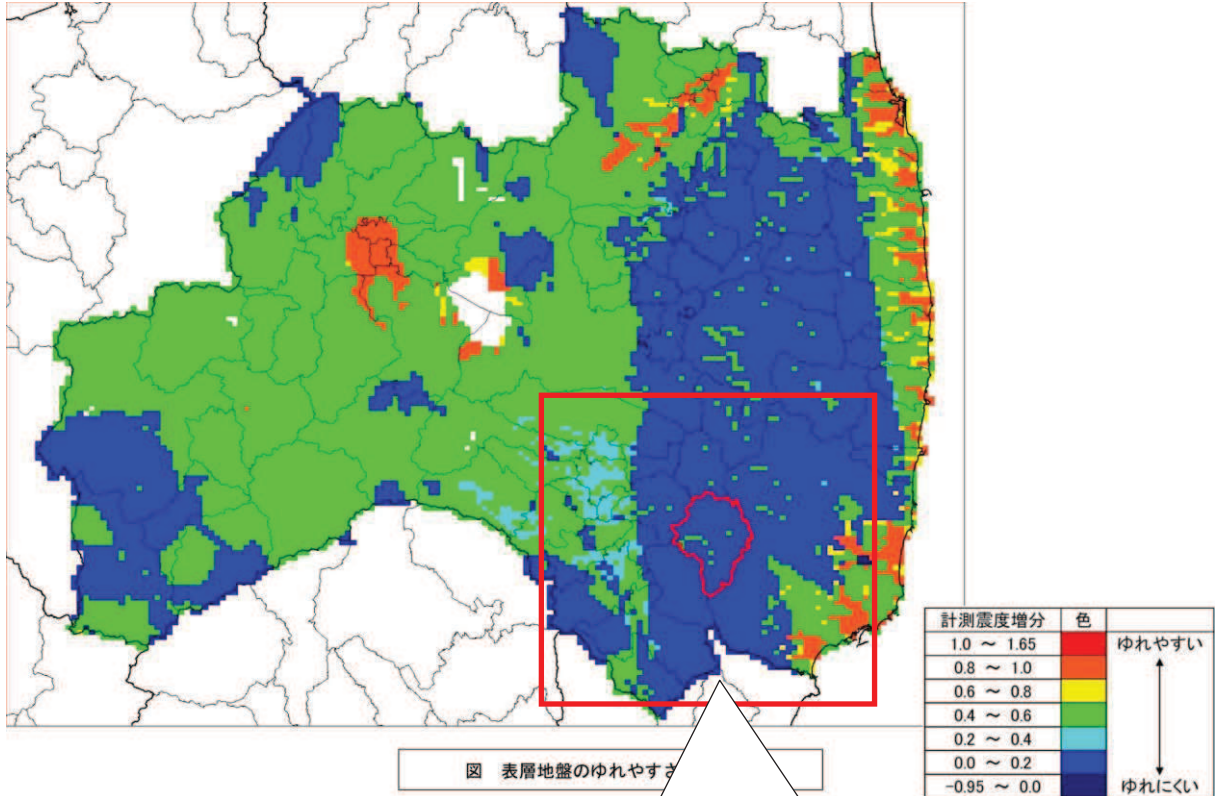
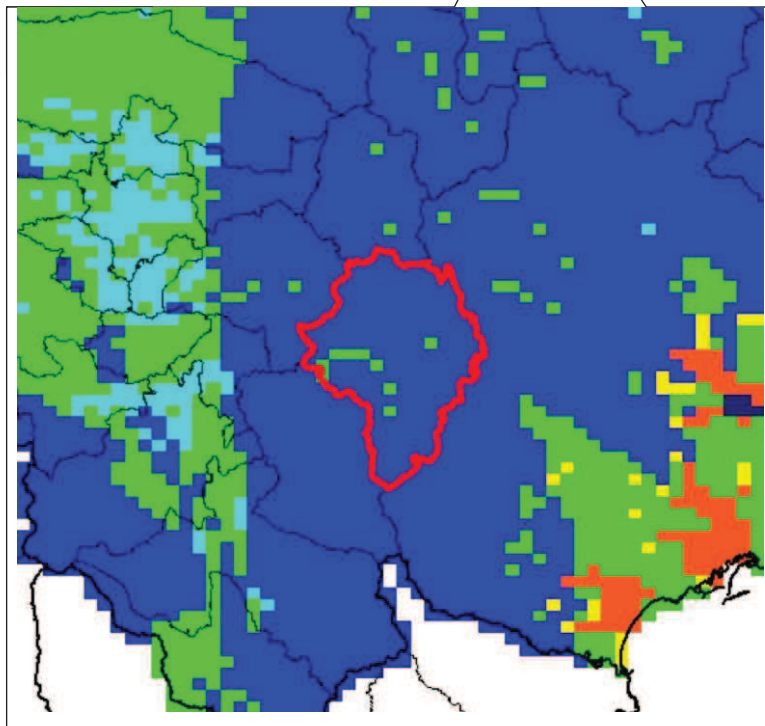


図 表層地盤の揺れやすさ



資料：「地震の揺れやすさ全国マップ」内閣府 HP のデータを加工